

# 特集 ぶら〜りライブラ〜り 大学図書館探訪



知の宝庫ともいえる大学図書館。そこには膨大な図書資料が並び、快適な学修環境が整備されています。生田・神田の両キャンパスに4つある大学図書館を、ぶら〜り誌面で探索してみましょう。



↑多くの雑誌、新聞を揃えたブラウジング・プラザ

## 図書館生田分館

生田分館は2023年度より閉架式の図書館となりましたが、取り寄せることで利用が可能です。



## 図書館本館

9号館の2〜4階にある図書館本館。入館ゲートを通ると広大な本の世界が広がります。人文・社会科学を中心に幅広い分野にわたる図書資料約137万冊、雑誌約1万7千誌を所蔵。多くの席があり、学生たちは読書にも勉強にも利用しています。



→入館ゲート



## 図書館神田分館

神田3号館の1階〜地下2階にある図書館で、専門書、学術雑誌を中心とした図書資料50万冊、雑誌約5千誌を所蔵しています。



↑M3F(中3階)にある電動書架



←資料の検索は蔵書検索システム(OPAC)で。他館所蔵の資料も取り寄せることができます



↑DVD映像の鑑賞やパソコンが利用できる地下1階のAV・PCラウンジ



↑地下2階の書庫には、ずらりと本が並び、静かに資料に向かう机もある

## Knowledge Base(靖国通り分館)

新しい校舎、神田10号館の13、14階にある図書館です。読書や勉強が快適にできるように、様々な工夫が凝らされたUZUMAKI、MORI、SORAの空間があります。

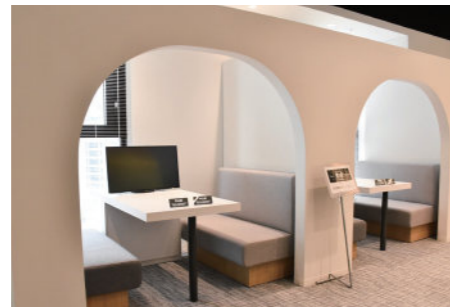


### MORI

高さの違う本棚が並ぶ空間は、まるで本の森に入り込んだよう。

## UZUMAKI

入館ゲートを通ると、正面にあるのは渦巻き状の本棚スペース。お薦めの本が展示されたり、蔵書検索システム(OPAC)用のPCがあったり、本への興味を喚起させます。



↑大きな液晶モニターを見ながら話し合いもできる個室スペース



↑学生同士で会話でき、企画展のイベントなども開催されるスペース

## SORA

窓辺に設置された机に向かい、手元の本からふと顔を上げれば、東京のビル群が見渡せます。



## 図書館法科大学院分館

神田8号館(法科大学院)の6階にある図書館で、法学分野の図書資料が揃っています。



# 図書館いろいろ活用法

### マイクロフィルム閲覧



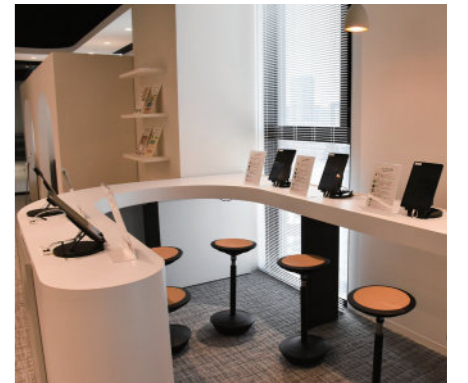
こちらはマイクロフィルムを見るための機械です。直接手を触れることのできない貴重資料など、マイクロフィルムで閲覧することができます。

### DVD・ビデオ鑑賞



DVD・ビデオ鑑賞もできます。本館には1人用、2~3人用ブースがあり、授業の合間に映画を楽しむこともできます。写真は図書館本館の視聴覚ブース。

### 電子ブック



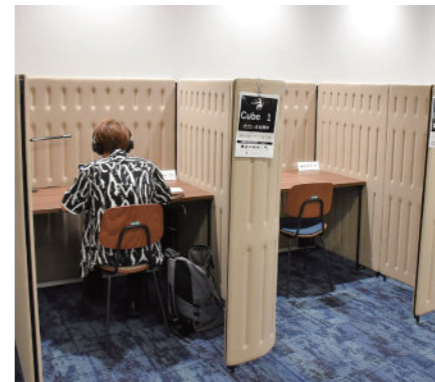
電子ブックも所蔵していて、コロナ禍で自宅から大学図書館の電子ブックを利用する学生も増えました。Knowledge Baseには電子ブックを読めるタブレット端末も設置。

### アクティブ・ラーニング



図書館は静かに過ごすだけの場所ではありません。学生同士の活発な話し合いを通して学びを深めるために、自由に話せるアクティブ・ラーニングのコーナーが各所にあります。

### 学修コーナー



静かにじっくり学修できるコーナーも設置しています。Knowledge Baseにあるこちらのスペースは仕切りに吸音素材が用いられ、静寂の中で勉強に集中できます。

### 他大図書館の利用



専修大学は「山手線沿線私立大学図書館コンソーシアム」に加盟しているため、学部学生、大学院生、専任教職員は加盟大学の図書館も利用することができます。

## 所蔵品にまつわる様々な企画展示

専修大学図書館では企画展を開催して、図書館所蔵の資料を公開しています。2018年秋の企画展「フランス革命を知ろう」では、図書館所蔵のフランス革命期の資料を展示し、革命期の市民の声に迫りました。また、2019年春開催の企画展「時代にゆれた表現の自由」では、江戸から現代にかけて、発禁処分になった作品などを展示し、時の権力に規制された出版表現に表現者がどう対峙してきたかを明らかにしました。図書館所蔵の貴重資料については次のページで詳しく説明します。

→企画展「フランス革命を知ろう」。手前は大判3巻からなる『フランス革命史画集成』



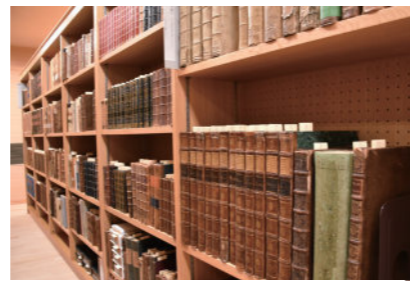
# 専大のお宝拝見! 図書館所蔵の貴重コレクション

専修大学図書館では国内外から集めた貴重な資料を所蔵しています。歴史的に価値あるもの、体系的にまとまった資料群など、その筋の研究をするのに大変重要なもので、厳重な管理のもと保管しています。以下にコレクションの一部をご紹介します。  
※貴重書の利用は、事前に所定の手続きが必要です。

## 向井信夫文庫(江戸時代後期の戯作)



↑『修紫田舎源氏』柳亭種彦作、歌川国貞画



↑貴重資料は図書館本館の特別書庫で徹底した湿度・温度管理のもと、防虫対策も施され保管されています。

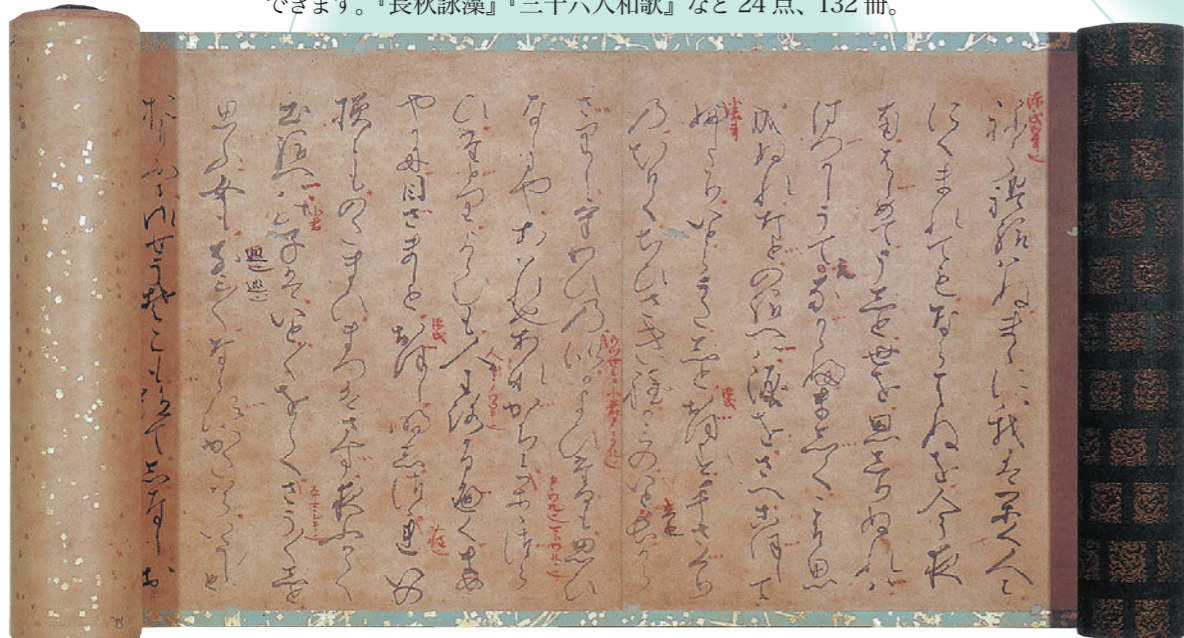
向井信夫氏が収集した江戸期和本のコレクション。小説、漢詩文、歌舞伎関係、絵本と多種にわたります。『南総里見八犬伝』『修紫田舎源氏』など4,000作以上。

## ミシェル・ベルンシュタイン文庫(フランス革命期史料)

ミシェル・ベルンシュタイン氏が収集した、フランス革命期に刊行・記録された資料約43,500点、雑誌約400誌。『人權宣言』『ルイ16世の遺言書』や当時の風刺画やポスターなどがあります。

## 蜂須賀家旧蔵本

大名蜂須賀家が収集した鎌倉・室町・江戸期に書写された和歌・物語などの古写本で、武家文化の一端を窺い知ることができます。『長秋詠藻』『三十六人和歌』など24点、132冊。



↑『源氏物語』(空蝉巻) 今川了俊筆 室町時代写

## 西洋の名著・古典

グロティウス、ホップズ、モンタヌス、ルソー等人文系主要著書の初版本などを多数所蔵しています。



↑ルカ・パチョーリ『算術、幾何、比及び比例総覧』(1494年)複式簿記を紹介した最古の書物。現存する初版本は約100部といわれる

↓マリー=アントワネットに対する死刑判決書の公示(1793年)



## 図書館利用の強い味方!

### レファレンス・サービス

この研究にはどのような資料をどう探せばいいのか、学生が困ったときには図書館員が相談にのってくれます。必要に応じて、他大学・他機関での図書資料の取り寄せや、訪問利用のための紹介状の発行も行っており、オンラインでの相談も受け付けています。



### 専修大学図書館ボランティアCompass

専修大学の図書館では、学生ボランティア「Compass」が活動しています。図書館利用のサポートや、企画展示の手伝いなど、多くの学生に図書館に興味を持ってもらえるよう、幅広い活動をしています。InstagramなどのSNSでも情報を発信しています。



↑Compassのメンバーが作った消しカス入れ

### 育友会も図書館を応援



↑図書館本館の育友文庫ジョイ

育友会では学生支援の一環として多くの図書を寄贈しています。文学から歴史、社会科学、自然科学、芸術など幅広いジャンルにわたる「育友文庫」や読書の楽しさを知ってもらうことを目的とした「育友文庫ジョイ」として、大学図書館に所蔵されています。また、図書施設の充実のため、時計やスツール、除菌BOXなどを寄贈しています。



↑本を入れれば45秒で除菌する除菌BOX

【お詫び】『育友』172号P25掲載の集合写真において、発表者が使用した資料情報の記載漏れがありました。写真一番右『若い読者に贈る美しい生物学講義 感動する生命のはなし』(更科功著、ダイヤモンド社)